森から世界を変えるプラットフォーム 設立記念セミナー



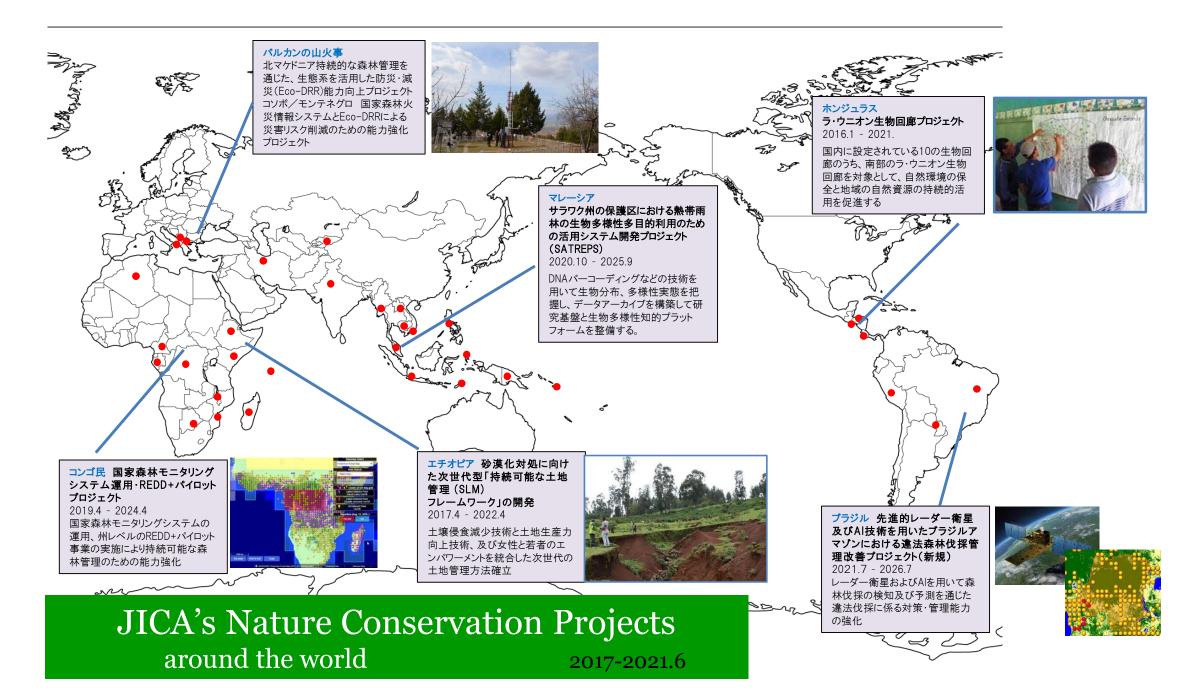
~JICAの取組紹介~

自然環境保全協力のこれまでとこれから

JICA 地球環境部 次長

森林·自然環境G長

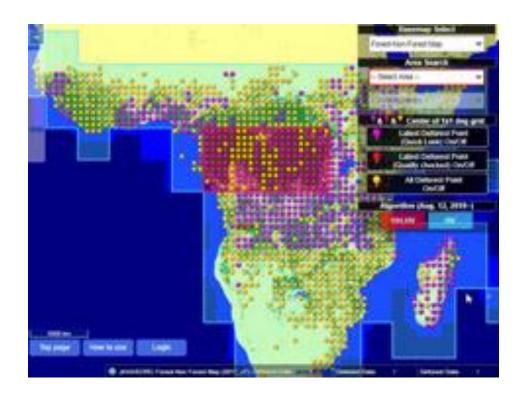
西村 貴志



コンゴ民 国家森林モニタリングシステム運用・REDD+パイロットプロジェクト

2019.4 - 2024.4

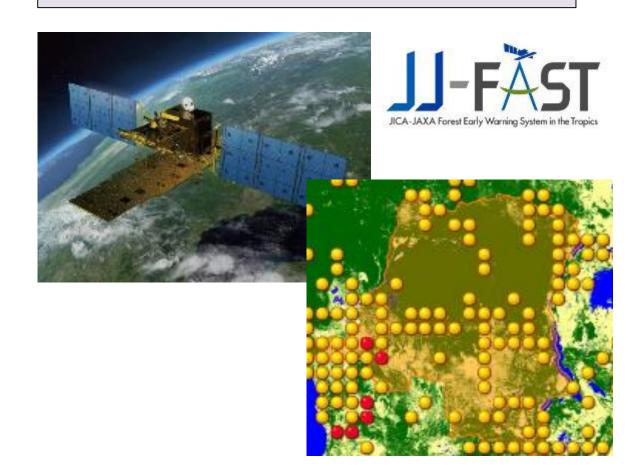
国家森林モニタリングシステムの運用、州レベルのREDD+パイロット事業の実施により持続可能な森林管理のための能力強化



ブラジル 先進的レーダー衛星及びAI技術を用いたブラジルアマゾンにおける違法森林伐採管理改善プロジェクト(新規)

2021.7 - 2026.7

レーダー衛星およびAlを用いて森林伐採の検知及び予測を通じた違法伐採に係る対策・管理能力の強化



マレーシア

サラワク州の保護区における熱帯雨林の生物 多様性多目的利用のための活用システム開発 プロジェクト(SATREPS)

2020.10 - 2025.9

DNAバーコーディングなどの技術を用いて生物 分布、多様性実態を把握し、データアーカイブ を構築して研究基盤と生物多様性知的プラット フォームを整備する。





ホンジュラス

ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト 2016.1 - 2021.

国内に設定されている10の生物回廊のうち、南部のラ・ウニオン生物回廊を対象として、自然環境の保全と地域の自然資源の持続的活用を促進する

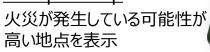


バルカンの森林火災早期警戒システム案件

北マケドニア、コソボ、モンテネグロ で実施。衛星画像等を用いて早期警戒システ ムを確立するもの。



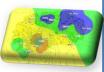
Hotspot map



早期警戒



Fire Weather Index 仮に着火した際の延焼しや すさを表示





植生乾燥度Map 植生の乾燥具合を表示



エチオピア 砂漠化対処に向けた次世代型「持続 可能な土地管理(SLM) フレームワーク」の開発 2017.4 - 2022.4

土壌侵食減少技術と土地生産力向上技術、及び女 性と若者のエンパワーメントを統合した次世代の土地 管理方法確立







JICAの自然環境保全の経緯

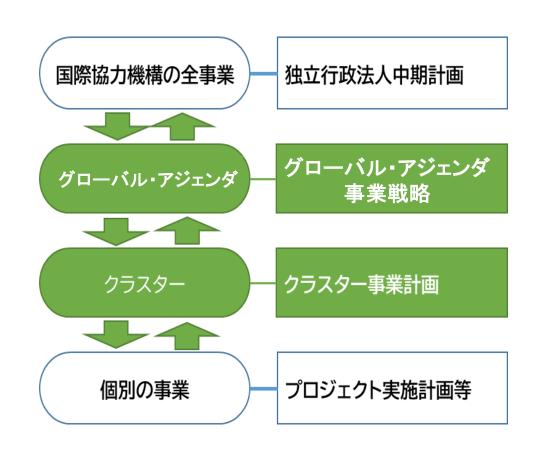
年代	JICAの主なアプローチ、キーワード
1970	フィリピン国パンタバンガン林業開発(1976)開始 林業中心(造林/森林回復)
1980	社会林業(住民参加型森林管理)の導入
1990	住民参加型森林管理の本格的実施 生物多様性保全援助研究報告書(1995)⇒生物多様性の積極的保全
2000	新たな分野として、「野生生物保護と保護区管理」、「湿地・湖畔・河川・沿岸保全(流域 管理、マングローブ等)、「エコツーリズム」
2010	REDD+、民間企業、レジリエンス(乾燥・半乾燥地の代替収入源創出、アグロフォレストリー、土壌劣化抑制)、Eco-DRR等
2020	これまでの流れを踏まえつつ、様々なステークホルダーとの協働、外部資金の活用(GCF (緑の気候基金), CAFI (中部アフリカ森林イニシアティブ) 等、DXの更なる活用 (グローバル・アジェンダの設定)



グローバル・アジェンダ「自然環境保全」

・目的:自然環境保全と人間活動の調和を図り、自然環境の 減少と劣化を防ぐことで、自 然環境からの様々な恵みを享 受し続けられる社会の構築を 目指す。

クラスター:「陸域持続的自然資源管理」「沿岸域持続的自然資源管理」





陸域持続的自然資源管理クラスター (森から世界を変えるイニシアティブ)

生態系	主な 対象地域	主な自然環境 劣化要因	主な対策(技協)	技協以外				
陸域持続的自然資源管理 (通称:森から世界を変えるイニシアティブ)								
熱帯林			REDD+支援、保護区の設定、違法伐採対策、生計向上、森林火災情報システムの整備、植林、エコツーリズム、環境教育					
乾燥• 半乾燥等	東・南部アフリカ、中央 アジア、バルカン	農地開墾、薪炭採取、 過放牧、森林火災、土 砂災害	植林(産業植林、アグロフォレストリー、生計向上) 土壌劣化対策(土壌保全、牧畜・草地管理) 森林火災情報システムの整備、植生回復を含む治山工事、(将来的)永久凍 土対策等	GCF(適応)、民間資金				
湿地 (湖沼、 湿原)	全世界	地域開発、水質汚濁	統合的管理計画、生計向上、エコツー リズム、環境教育、泥炭地保全、	GCF(緩和・適応)・民間資金				



沿岸域持続的自然資源管理クラスター(海から世界を変えるイニシアティブ)

生態系	主な 対象地域	主な自然環境劣化要因	主な対策	スケールアップ手段				
沿岸域持続的自然資源管理 (通称:海から世界を変えるイニシアティブ)								
マングローブ、 サンゴ礁等	島しょ国や熱帯地域	殖池造成など海域利用変化	統合的沿岸管理計画、植林、持 続的沿岸域漁業・養殖、生計向 上、エコツーリズム、環境教育					



グローバル・アジェンダ「自然環境保全」 における基本的取組

①政策・計画 (様々なセクターの状況を踏まえた制度策定)

②モニタリング及び評価を行うための基礎データ・システム整備 (守るべき自然の情報整備)

③地域の現状を踏まえた対策手法の実証とモデル化・制度化 (実効性の確保。地域住民との協働アプローチを基本。)

④事業の実施・スケールアップ (GCF、CAFI等の外部資金を活用。 森から世界を変えるプラットフォームによる協働。)



今後、重視したい取組み

- ▶様々なステークホルダーとの協働の促進
 - 森から世界を変えるプラットフォーム
 - マングローブ保全のための民間連携枠組み
 - ・既存のスキームでの協働(技協、留学生事業、SATREPS、 民間連携事業等)
 - 知見の発信「アフリカの森から世界を変えるナレッジ」
- ▶ 外部資金の活用
 - GCFの活用等
- **▶**DXの更なる活用
 - 森林減少の監視から予測へ等

